

明日8日は日本の現代史にどの様に位置づけられるのだろうか。マスコミは「郵政自爆解散」とか何とか銘打っている。

報道によれば、予断は許さないとは言え、否決される可能性が高くなってきたのではなからうか。何れにしても僅差であろう。



郵政民営化は、小泉首相にとっては政治家としての信条であり、国民に対する公約であり、それ故に、否決されたならば誰が何と言おうと解散すると陰に陽に明示してきたのであり、その様な信念の人が後を完全に絶っているからして、既定方針通りにするのだろう。否決されて総辞職と言う選択肢はあり得ないだろう。正に小泉さんの面目躍如、変人小泉らしいと言うべきなのだろう。

それにしても、高々郵政ぐらいで衆議院を解散して、敢えて政治的空白を作る必要があるのか極めて疑問である。だからと言って、郵政民営化に反対などと言う積もりはない。小泉さんにとっての郵政民営化は最重要課題である事に異論はないが、日本国家にとってはもっと重要な問題があると言わざるを得ない。

だからと言って、政治的空白を作るべきではないなどと郵政民営化を潰すために勝手に理屈をつけているだけの政治家と同根と看做されるのは御免である。意図するところは全く違う。その様な連中に与する気など毛頭ない。

民営化賛成・反対色々な理屈を並べてはいるが、どうも根底のところはドロドロした怨念と言うか人間臭さがプンプンとしているようだ。

俺の言う事を一顧だにしなかったとか、あの時俺の顔に泥を塗ったとか、父親の処遇に対する鬱憤とかが根底にあって、それを覆い隠すために、国民の為にならぬとか、政治手法が云々などと尤もらしい屁理屈はつけてはいるのだ。袈裟の下から鎧が見えるの喩えと同じである。

反対派議員の多くが延べている“首相の政治手法云々”が法案反対の理由になるのか小生には理解できぬ。法案の内容が日本にとって是なのか非なのかが重要なのであって、手法の話ではないはずだ。これでは、やくざの世界と同じだ。

何と日本の政治家は器量の小さいことか、確かに人間であるから、色々な感情があろう。然し、日本の国益、在り様なり方向性を定める時には、もっと大所高所から判断すべきである。

六カ国協議で日本はどうも蚊帳の外だし、日中や日韓の諸問題は待たなしの状況であり、日本の根幹である新憲法の策定や防衛庁の昇格問題、ロンドン同時爆発テロに見られる同様事案が日本で発生した場合の具体的対応策の決定等の安全保障問題、年金などの社会保障問題、2004年度の国・地方長期国債残高がGDPの1.5倍の740兆円であり日本の破綻も実しやかに囁かれる今日、日本の財政再建を如何にするべきかの長期戦略の策定、やっと長い暗闇を抜け出し始めたとも感じられつつある日本経済の促進策等々郵政以上の喫緊の課題ではないのだろうか。

特に今秋自民党は憲法を条文の形にして国民に問おうとしている。戦後60年の総決算の憲法改正問題は当分の間目の目を見まい。自民党は下野し、或いは分裂し、民主党の政権担当能力は疑問符だらけであり、日本の長い混迷期が始まる。

日本は下らない事(失礼)にうつつを抜かしている余裕があるのか。何れの問題を見ても喫

緊の課題である。今真剣に議論し方向性を定めないと日本は荒波に翻弄され、旬日を経ずして、日本は沈没してしまうのではなかろうか。

国民も政治家もマスコミも目先の狂騒に巻き込まれ何も見えなくなっていると思えない。政治家諸氏は頭を冷やして貰いたいものだ。